

月	学校評価	教職員・児童	保護者・地域 学校関係者評価委員会
4月	学校経営方針 学校評価計画	校内学校評価委員会 分掌部会で具体的方策決定	学校経営方針の説明 【4月15日(土)】 《PTA総会》
5月	教育実践	学校評価計画に基づき実践	計画の周知 《学校だより・ホームページ等》 学校関係者評価委員会
6月			【5月末～6月初め】
7月	学校評価中間評価	教職員・児童・保護者評価 分掌部会で自己評価 取組の改善案を検討する	
8月	学校評価中間分析	分掌部会の自己評価を校内協議 取組の改善案を決定する 校内学校評価委員会	
9月	教育実践		学校関係者評価委員会 【9月末～10月初め】
10月	教育実践		中間評価の周知 《学校だより・ホームページ等》
11月	学校へ行こう週間 教育実践		
12月	教育実践	教職員・児童・保護者評価 分掌部会で自己評価 取組の改善案を検討する	
1月	教育実践	分掌部会の自己評価を校内協議 取組の改善案を決定する 校内学校評価委員会	
2月	学校評価最終評価		学校関係者評価委員会 【2月末～3月初め】
3月	成果と課題	校内学校評価委員会 次年度に向けて	最終評価の周知 《学校だより・ホームページ等》

海田西小学校 学校評価 評価指標

平成29年度

	担当	重点項目	評価項目	評価指標	評価基準			
					4	3	2	1
知	教務部	活用力の向上	○学力調査における活用問題で30%未満の児童を学級で20%未満になることをめざす	○基礎・基本定着状況調査 ○町内学力調査 ○CRT	15%未満	15%以上 20%未満	20%以上 30%未満	30%以上
		授業力向上と授業改善 【西中校区共通】	○解決しようとする課題について予想する(させる)授業 ○自分の考えとその理由を明らかにして発表する(させる)授業	○基礎・基本定着状況調査(質問紙項目)	県平均7ポイント以上 上回る	県平均3~7ポイント未満 上回る	県平均0~3ポイント未満 上回る	県平均を下回る
徳	生徒指導部	相手を大切にしたい返事・あいさつ・言葉づかい	○「はい」と「あいさつ」・「ことば」を相手のことを考えて使うことができる ○縦割り活動で自己肯定感を高める	○児童の自己評価 肯定的評価の児童の割合60%以上 ○心の元気アンケート 児童・保護者と教員	70%以上	60%以上 70%未満	50%以上 60%未満	50%未満
	生徒指導部	美しい環境づくり	○無言ですみずみそうじ ○校内環境整備	○児童の掃除自己評価 肯定的評価の児童の割合70%以上 ○担当教員の掃除自己評価 ○参観日における保護者評価(環境すみずみ・整理整頓)	80%以上	70%以上 80%未満	60%以上 50%未満	40%未満
体	保健安全部	体力の向上	○3分間走の充実 ○縦割りサーキットの充実	○1学期からのタイム伸び率が3学期末まで伸びた児童80%	85%以上	80%以上 85%未満	70%以上 80%未満	70%未満
	保健安全部	生活習慣をつくる	○早寝早起き朝ごはんリズムのよい生活習慣を身に付ける。 ・寝る時間を整える	○親子で決めた寝る時間守った達成率80%	85%以上	80%以上 85%未満	70%以上 80%未満	70%未満

教務部 活用力の向上

○学力調査における活用問題で30%未満の児童を学級で20%未満になることをめざす

具体的な方策（123）	成果（○）と課題（▲）
<p>1 学力テストの結果を分析し、活用力の向上に生かす。</p> <p>2 児童の実態に応じた指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○朝学習…基礎的な問題に取り組む ○座学…活用力を問う問題に取り組む <ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別に分かれて行う ・管理職、専科が入り指導する。 ○給食準備中に個別指導を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・週3日（月・火・金曜日） ・学年を決めて ○放課後に個別指導を行う <p>3 新聞を活用した表現力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新聞への全員投稿（字数制限あり）に定期的に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・月に1回 	

教務部 授業力向上と授業改善

- 基礎・基本定着状況調査の質問紙の項目において、県平均より3ポイント以上上回る
- 解決しようとする課題について予想する（させる）授業ができた
- 自分の考えとその理由を明らかにして発表する（させる）授業ができた

具体的な方策（123）	成果（○）と課題（▲）
<p>1 西小スタイルの指標に沿った授業力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対話と協働を重視した授業づくり ○5月に、全学年共通の指標を作成し掲示し、児童と教員の共通認識をもつ。 <p>2 話型の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ○低・中・高で身に付けるべき話型を掲示し、それに取り組む。 ○「課題について予想して見通しある授業」「理由づけで発表」をもちこむ。 	

生徒指導部 相手を大切にした返事・あいさつ・言葉づかい

- 「はい」と「あいさつ」・「ことば」を相手のことを考えて使うことができる
- 縦割り活動で自己肯定感を高める

具体的な方策（1 2 3）	成果（○）と課題（▲）
<p>1 毎学期、2週間かけてあいさつ名人カードに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 期間を決めて教員が見取り,指導する。 ○ あいさつ名人達成率 見取り90%をめざす。 <p>2 朝の健康観察で、名前を呼ばれたときに、相手にはっきりと聞こえるように返事をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教員が見取り,指導する。 ○ 全児童の80%以上をめざす。 <p>3 学校生活では、友達を「～君」「～さん」をつけて呼ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 縦割り活動の中でも実践し、異学年での立場を考え、自己肯定感を高める。 ○ 月に1回児童の自己評価を行う（6月・7月） ○ 全児童の80%以上をめざす。 	

生徒指導部 美しい環境づくり

- 無言ですみずみそうじ
- 校内環境整備

具体的な方策（1 2 3）	成果（○）と課題（▲）
<p>1 時間いっぱい掃除する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教室での自己評価 全児童の80%以上 ○ 担当教員の自己評価70%以上 ○ 掃除評価表を作成し、意識づける。 <p>2 黙って掃除をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教室での自己評価 全児童の80%以上 ○ 担当教員の自己評価70%以上 ○ 掃除評価表を作成し、意識づける。 <p>3 くつ箱の整理整頓</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教室での自己評価 全児童の80%以上 ○ 担任の自己評価70%以上 ○ 学期に1～2回重点的に評価する。 	<p>縦割り掃除開始・・・6月 1年「わくわく・どきどき・は らはら」プロジェクト</p>

保健安全部 体力の向上

- 3分間走の充実 ○縦割りサーキットの充実

具体的な方策（123）	成果（○）と課題（▲）
<p>1 運動タイム（3分間走）の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教師も一緒に走り声かけを行う。 ○ 強化週間を設ける。 ・ 1学期（ 5月12日～ 5月24日）※ 6月 2日（金）チャレンジタイム ・ 2学期（12月 1日～12月 8日）※12月13日（水）チャレンジタイム ・ 3学期（ 2月19日～ 2月26日）※ 2月28日（水）チャレンジタイム ○ 委員会の児童を中心に組みませる。 <p>2 授業でサーキット運動を行い、体力の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 握力・50m走に重点的に取り組む。 ○ 学年実態に合わせた用具を活用する。・ゴムボールで遊びながら握力向上 <p>3 外遊びの奨励</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年に2回外遊び週間を設ける ・ 2学期 ・ 3学期 ○ 放送・ポスター等による呼びかけを行う。 	

保健安全部 生活習慣をつくる

- 早寝早起き朝ごはんリズムのよい生活習慣を身に付ける。
・寝る時間を整える

具体的な方策（123）	成果（○）と課題（▲）
<p>1 早寝早起きカレンダーの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学期に1回、期間を設ける。 ・ 1学期（ 5月15日～ 5月21日） ・ 2学期（ 9月 4日～ 9月10日） ・ 3学期（ 1月22日～ 1月28日） ○ 期間中は毎日提出し、担任が確認する。 ○ 個別に指導が必要な場合は指導する。 <p>2 保護者連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 懇談で早寝の実態報告から就寝時刻を考えていただく。 ○ 学校からは就寝時刻の目安を提示 (低学年：9時 高学年：10時) ○ おたより等で啓発 <p>3 食の学習会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 栄養士との連携 ○ 参観日に食育授業 ○ 懇談が組めるなら懇談で話をして啓発 	